

《 2023低学年大会を利用した審判研修の総括 》

低学年大会を利用した審判研修で、上級審判員および審判部スタッフから寄せられたアドバイス等を指導項目ごとに整理しましたので、チーム内で共有頂き今後の審判活動の参考にしてください。

《総括》

全体的に前年と比較しても良くなっている印象です。良くなっている分、分かっていない方や出来ない方がとても目立っていました。主審を行う事は経験値が大きく影響します。審判服の着用、競技規則の理解、ポジショニングについて今回寄せられたアドバイスを参考に日頃のチーム活動の中で活かして頂ければと思います。また、Jリーグや代表の試合を観て参考に頂く事も良いと思います。

以下に、実際にアドバイスさせて頂いた内容や上級審判員の感想について、3つの重点項目ごとに紹介させて頂きます。

《審判服の着用について》

- *全体的に着用率は高くなったように感じた。その分、まだ黒のハーフパンツを履いている方やストッキング未着用の方は目立つ状況であった。→ 個人で所有する事が難しい場合には、チームや学年で一式（またはシャツだけでも）揃えて頂きたい。
- *審判服のシャツを出したままやストッキングを履いていない主審がいた。また、アクセサリ類を身に付けている主審も見られた。→ 適宜指導した。
- *審判服のままベンチに入る。又は応援エリアで応援している方が今回は多く見られた。→ 審判服は脱ぐか、別の服を上に着る事。→ 適宜指導した。

《1 人審判での動きとポジショニング》

- *ポジショニングはペナルティエリアの幅でくまなく走れ、プレーが見える位置でよかった。一方で、主審の位置がプレーの外寄りになる傾向の方は、もっと中央付近でプレーを見たほうが良い。
- *何を意識するかで、距離感を保つ事がコツ。
 - タッチラインを見たいと思えば、コートの上逆サイドでは無理があるので、10m くらいの距離に近づく必要があり、これを意識すれば必然的に走ることになる(無理に走る必要はない、自分の体力と相談し目的意識を持ってジャッジして欲しい)。
- *コーナーキック時にゴールライン上にいる方は逆襲に備えてペナルティエリアのバイタルエリア外にポジションしたほうが良い。

*コーナーキックの立ち位置

→ ゴール前が争点なので、争点で待ち構えているイメージ。「ここに立たないと」というより「どこを見たいか」を考えれば答えは自ずと出てくる。できれば、キッカーも視野に入りたいので、必然的にゴールの反対側になる。

*オフサイドラインを背にしているので見逃しやすいと思う人が多数いた(例:パントキック時など)。

→ オフサイドラインに入るのではなく、斜めから全体を視界に入れる。そうしないと攻撃が入れ替わると、もう一方のオフサイドラインにすぐさま切り替えられない(ゴール前はいろんなことが起きるので切り替えが重要)。

*全て走れば良いというわけではなく、重要なところは近づく意識！

→ PK が起きそうな場合、近づいてみる意識、そうすると、走るという目的で走るのではなく、結果として何かが起きそうなゴール前を監視しなければならないので縦に走ることになる

《フリーキックとなる反則をとる》

*主審にボールが当たった時の再開方法は適切であった。また、主審と選手との接触については周囲の状況を常に気をつけると良い。

*すね当て同士ではっきり音が聞こえた接触プレーは速やかに反則を取る事。

*オフサイドの反則は間接フリーキックなので、笛を吹いたら手を上げて、再開後だれかに触れるまでは手を上げ続けること。

*間接フリーキックなのに手を挙げない。または、直接フリーキックの方向指示のために上げた手を上げ続ける事で間接フリーキックと紛らわしくなる方が居た。

*ファールは1試合に2、3しかない。なので、まずは、最も確率的に起きそうなところから見る(タッチジャッジ、オフサイドなど)。余裕があれば、ファールも見る意識(優先度を意識して)。

*ファールのジャッジはまず笛→再開の指示、の順序(すなわちどちらのチームがどこから再開するか示す)。(ゲームをスピーディに進めるため)ファールの理由は二の次、余裕があれば教えてあげるくらいで良い(教える義務はない。その余裕があるのなら、再開の指示までしてからの方が良い)。

*ペナルティエリアとエリア外でファールの基準は一緒！

*正当なチャージとファールを見極める

→ 微妙な「ファールかなあ」というように考えて無理に取る必要はない。困ったときは、PK エリア内でもそのファール取りますか？と考えて、取らないよなあと考えれば、エリアの外でもファールでない。というように考えればファールの基準は安定する。

《その他》

*チェックしていた試合の主審はホイッスルが強く吹かれていて良かったが、全体的にはまだまだ小さいので、強弱や長短などで主審の意志を伝えて欲しい。

*ベンチにコーチが4名入っている。予備審が注意して3名以内にする。→ 要項の確認

*ベンチでコーチが2名以上立っている。1名以内にする。

- * 試合中、ゴールキックやキーパーのペントキックのやり方を指導している。複数回になっており公平性を欠くので注意する事。
- * ハーフタイム時、ボールはセンターサークルに置いて来ないで、持ち帰り管理する。
→ 持ち帰るよう指導したら予備審に蹴り返す主審がいた。
- * 笛を首から下げ、試合中ずっとその笛を手で押さえながらジャッジしている方がいた。しかもスマホで時間管理をしていた。→ ハーフタイム時指導した。

《今後への期待》

- * 試合中の声掛けをもっと増やしてほしい。
ファウルか否かの紛らわしいプレーの際にプレーを続けさせるような声掛け、またはアドバンテージを採用した際など、声掛けしてあげると良い
- * 運動量は多くなっていると感じたが、後半になると運動量が落ちる方もいたので、持久力UPを期待。

○審判部としましては依頼があれば各チームに出向いての研修会を行う事も出来ますので、その際はご連絡ください。